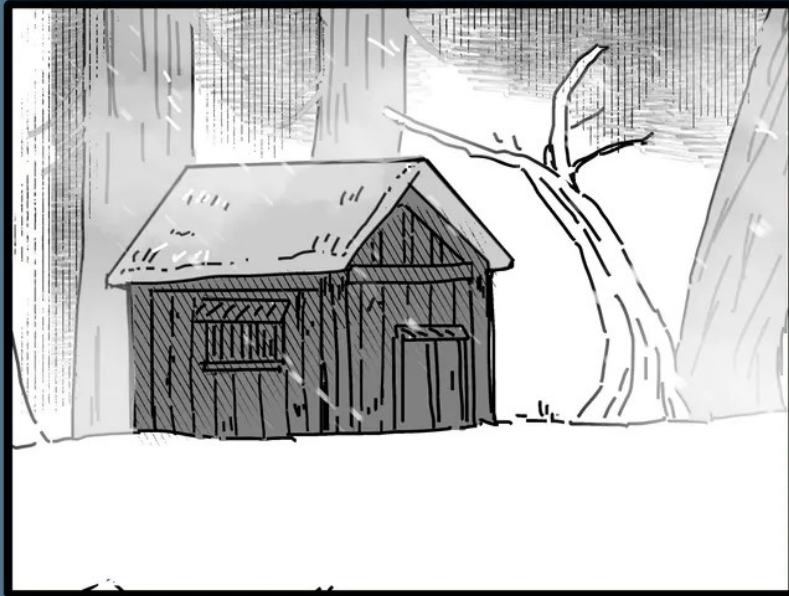


雪女

ゆきおんな



【ゆきおんな】
【雪女】
吹雪の夜に
あらわれ
男の命を
奪うという
凍らせたものを
あやつるとも



そこには

チロチロ

燃える

囲炉裏の火



これは
たすかる

この雪ん中
ここまでできた

だれか
猟師が
いたんだなあ

体が
あたたまり
うとうと

だとしたら
はすむかいの
じさまかな

少し……
休んで……
かえろう

まぶた
おろり
くる

びゅうううと
はげしい
風音で
しもとは
とびあがった



しかし
戸は
閉まって
いる

戸が
開いたと
思ったが
きのせい



いつのまにか
白い着物の娘が

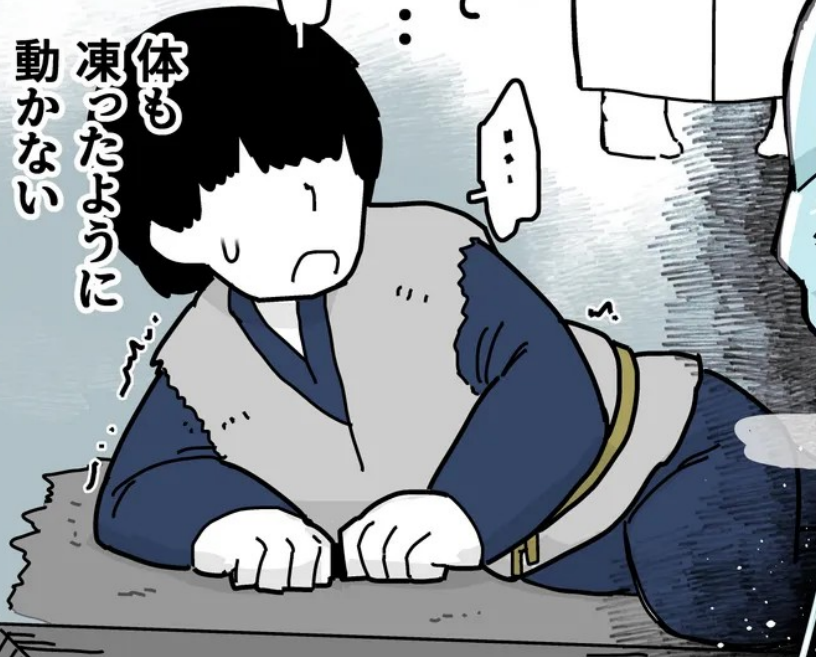
部屋の中に
立っていた



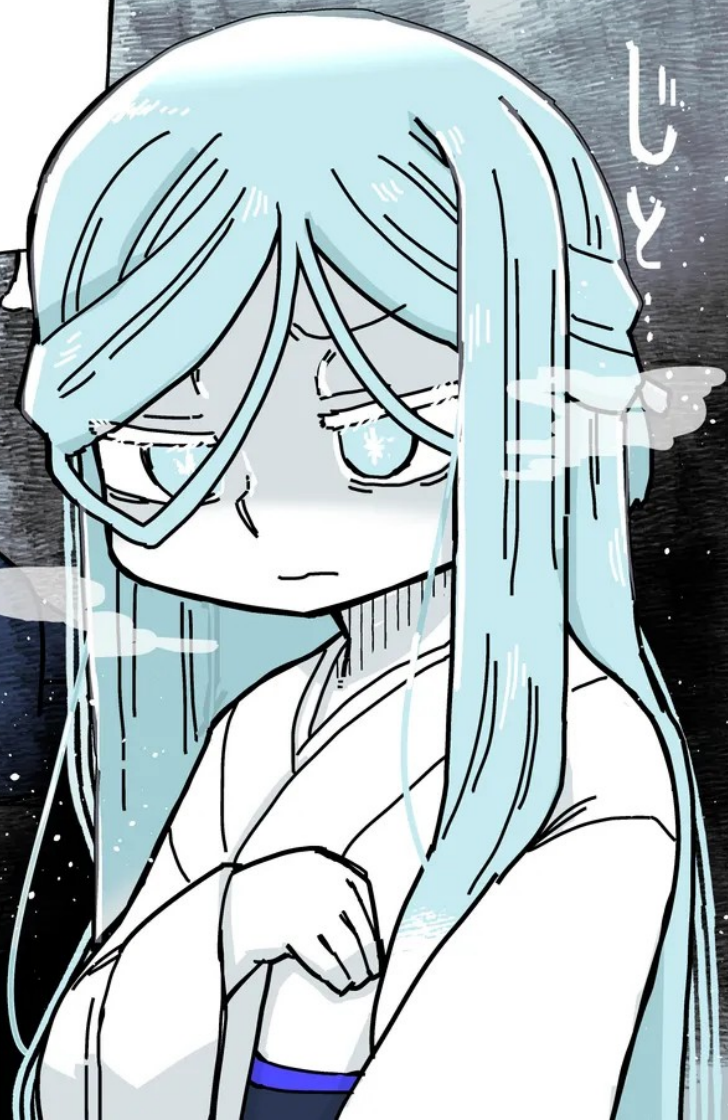
こっ
声のでない

ああ
この小屋
つかわして
もらって...

体も
凍ったように
動かない



じと



帯紐を
ほどく

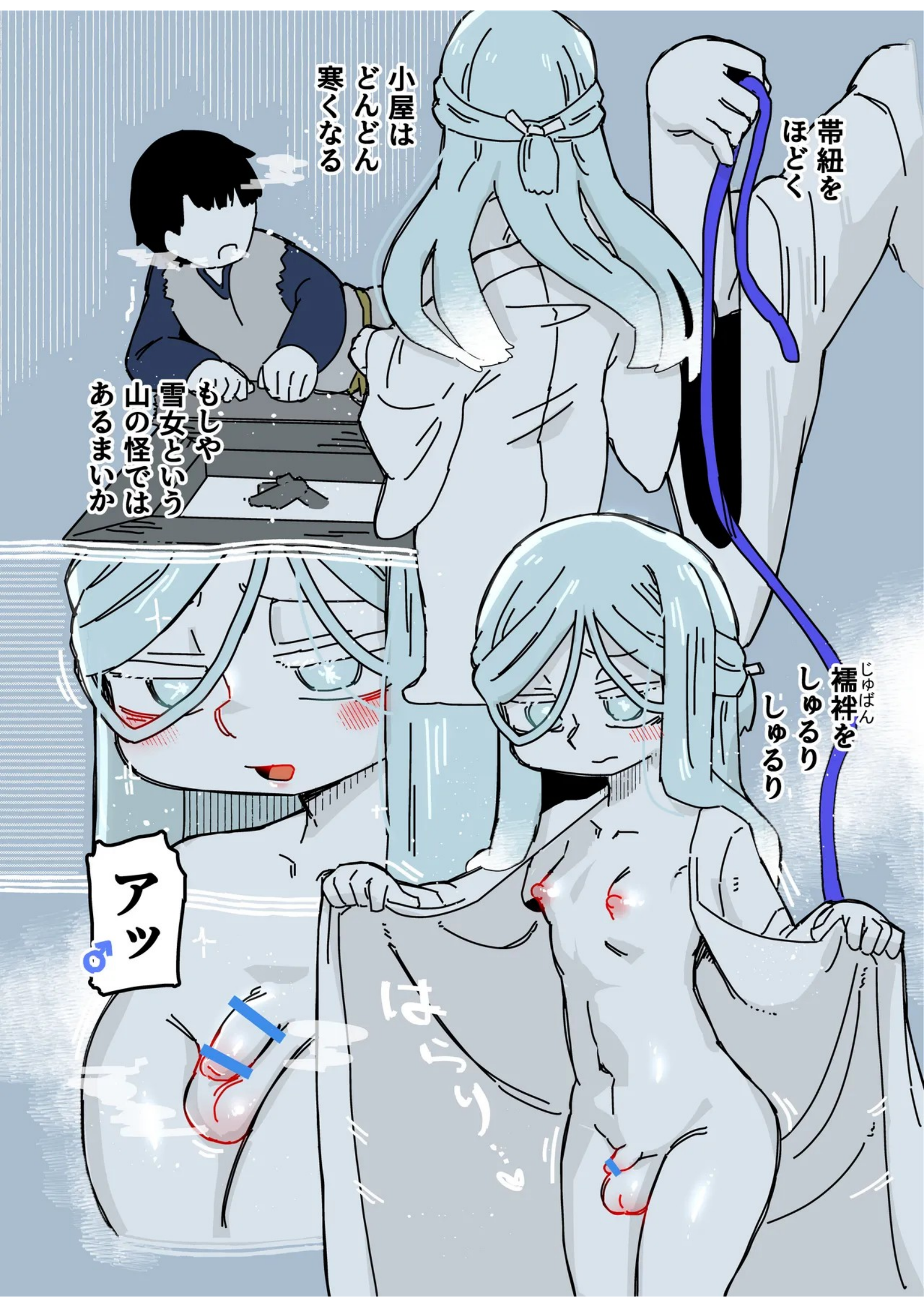
小屋は
どんどん
寒くなる

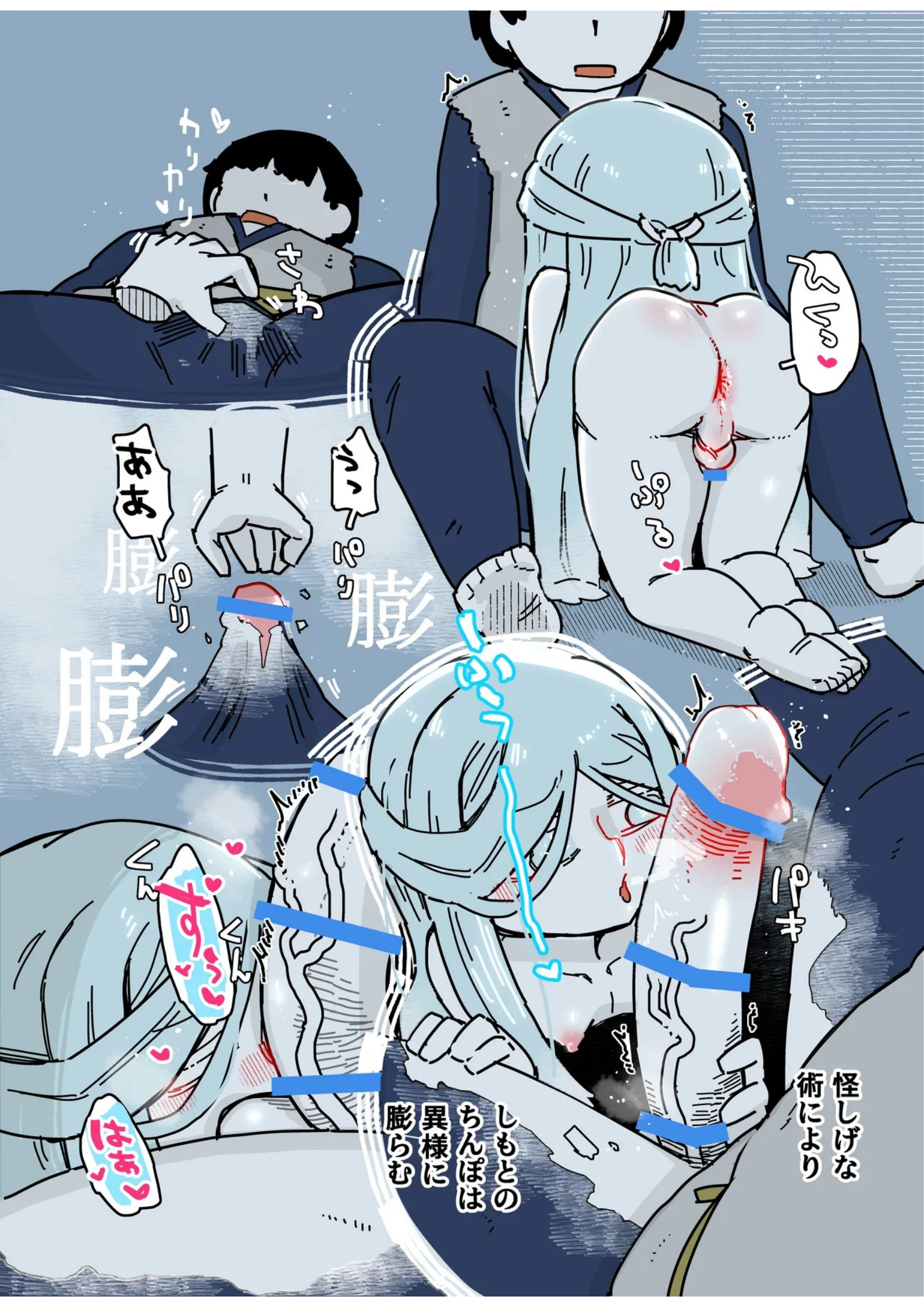
もしや
雪女という
山の怪では
あるまいか

じゅばん
襦袢を
しゅるり
しゅるり

アツ
♂

は
づ
ら
い





カッ
カッ
カッ

お尻

お尻

お尻

お尻

お尻

おまんこ

おまんこ

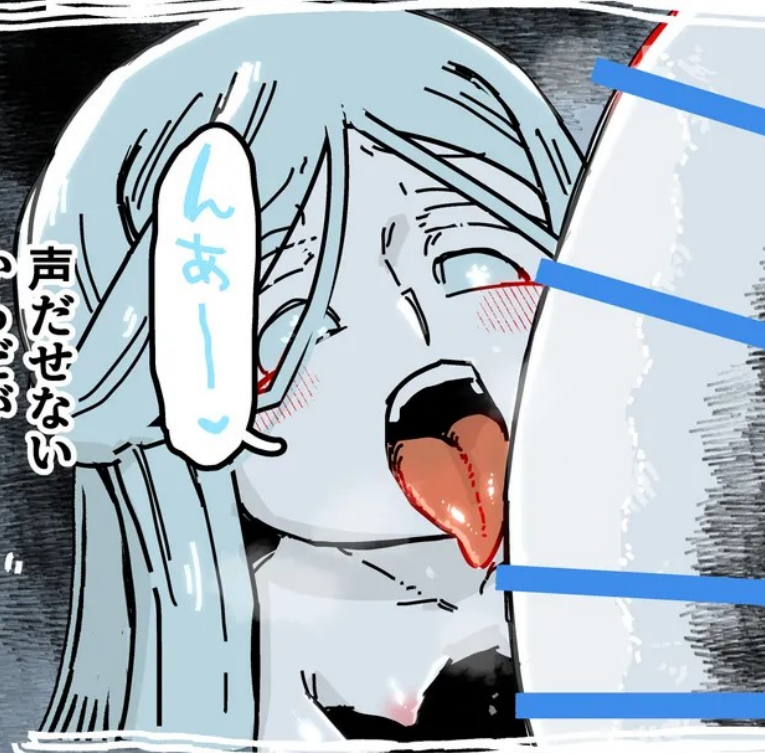
おまんこ

おまんこ

イキ

怪しげな
術により

しもとの
ちんぼは
異様に
膨らむ



んあー

声だせない
からだか
うごかない



やめ

は、

はあつ
はあ

うごかない

部屋は
寒いのに
しもとは
暑苦しさを
感じている

あつあつ

あつあつ



あつあつ

あつあつ





あつあつ
体がふるふる

ニヤニヤ
あつあつ
あつあつ

ぱんぱんぱん



とろみのある
つめたい唾

ぱんぱんぱん

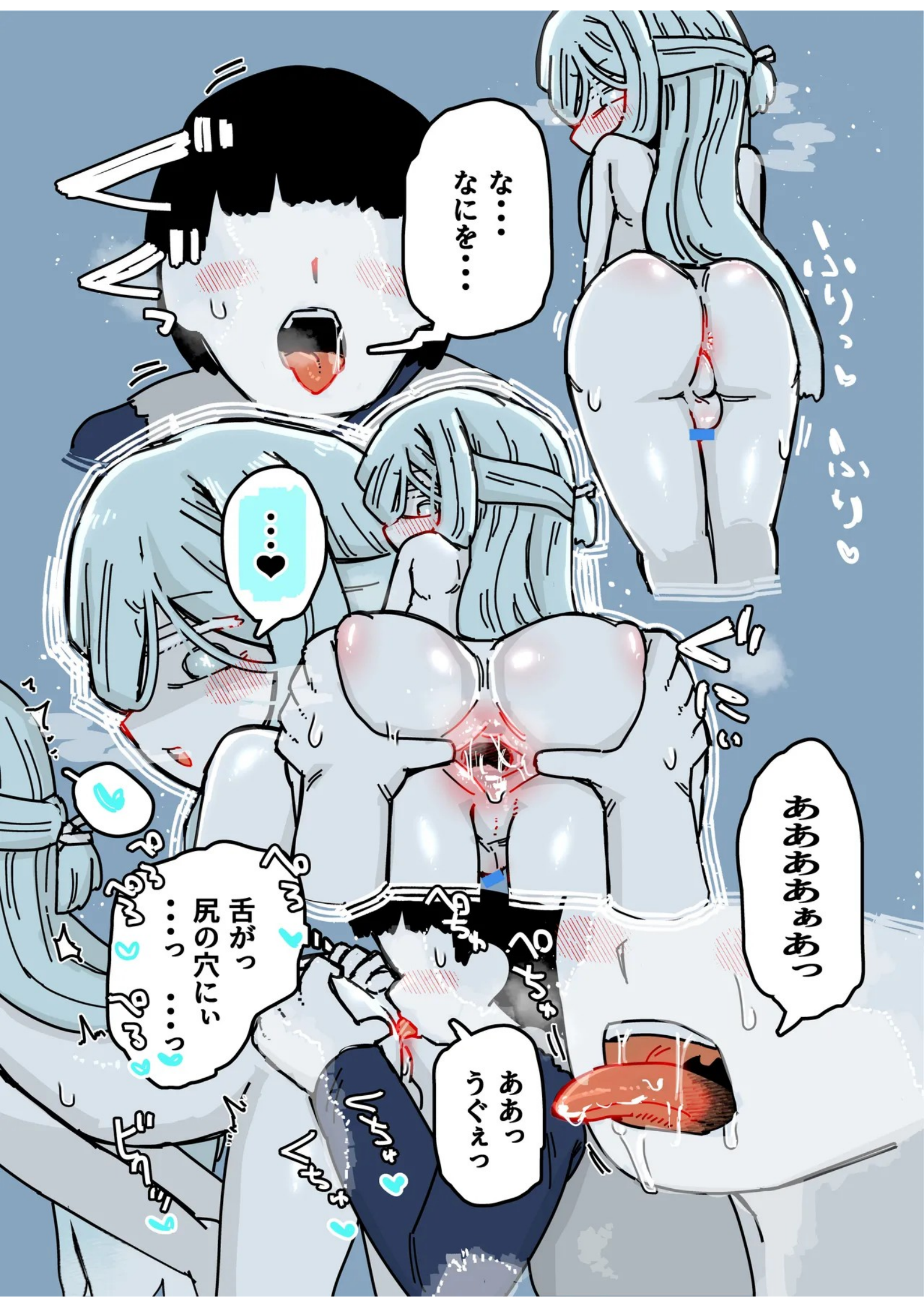
ぱんぱんぱん



腹の底に
冷気が
たまつてゆく

ぱんぱんぱん

ぱんぱんぱん

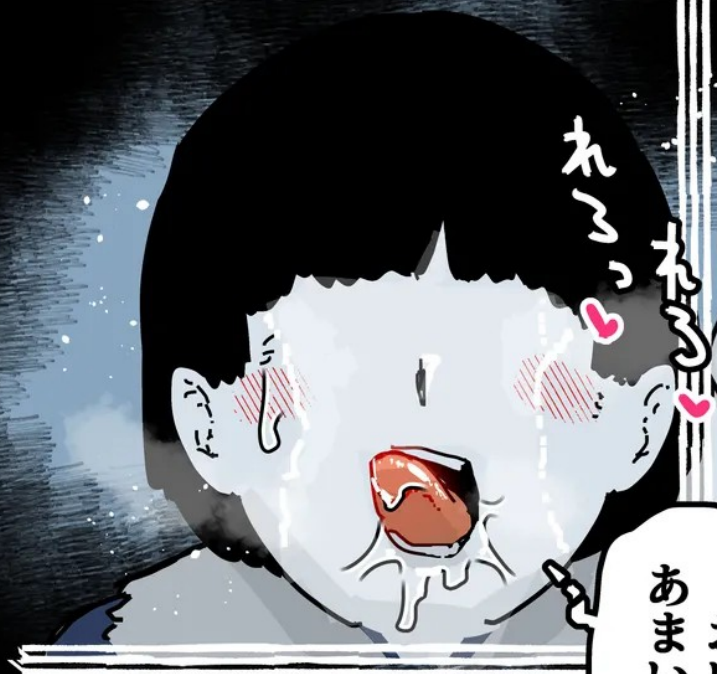


なあ...
なにを...

あああああ

舌がっ
尻の穴にい
.....
.....

ああっ
うぐえっ

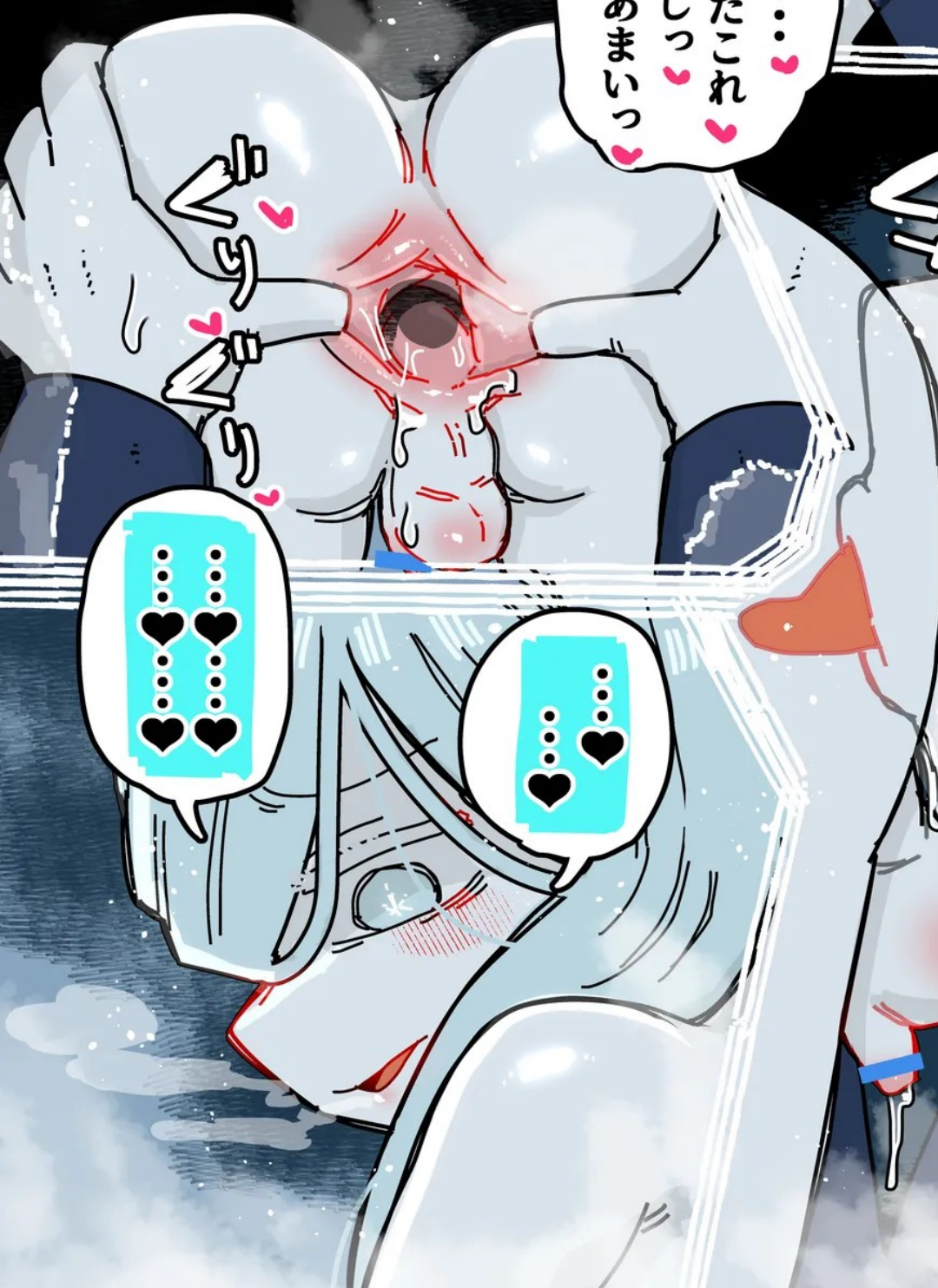


えっっっ
えっっ

あまい……
なんだこれ
おいしっ
あまいあまいっ



う……っ
?!……っ
あ あれっ



えっ
えっ
えっ

あま
あま
あま

あま
あま
あま

えっ
えっ
えっ

つめたくて
甘い露が
奥から
あふれてくる

あま
あま
あま

あま
あま
あま

ちんぽに
体中の熱が
集まっている

パキ

パキ

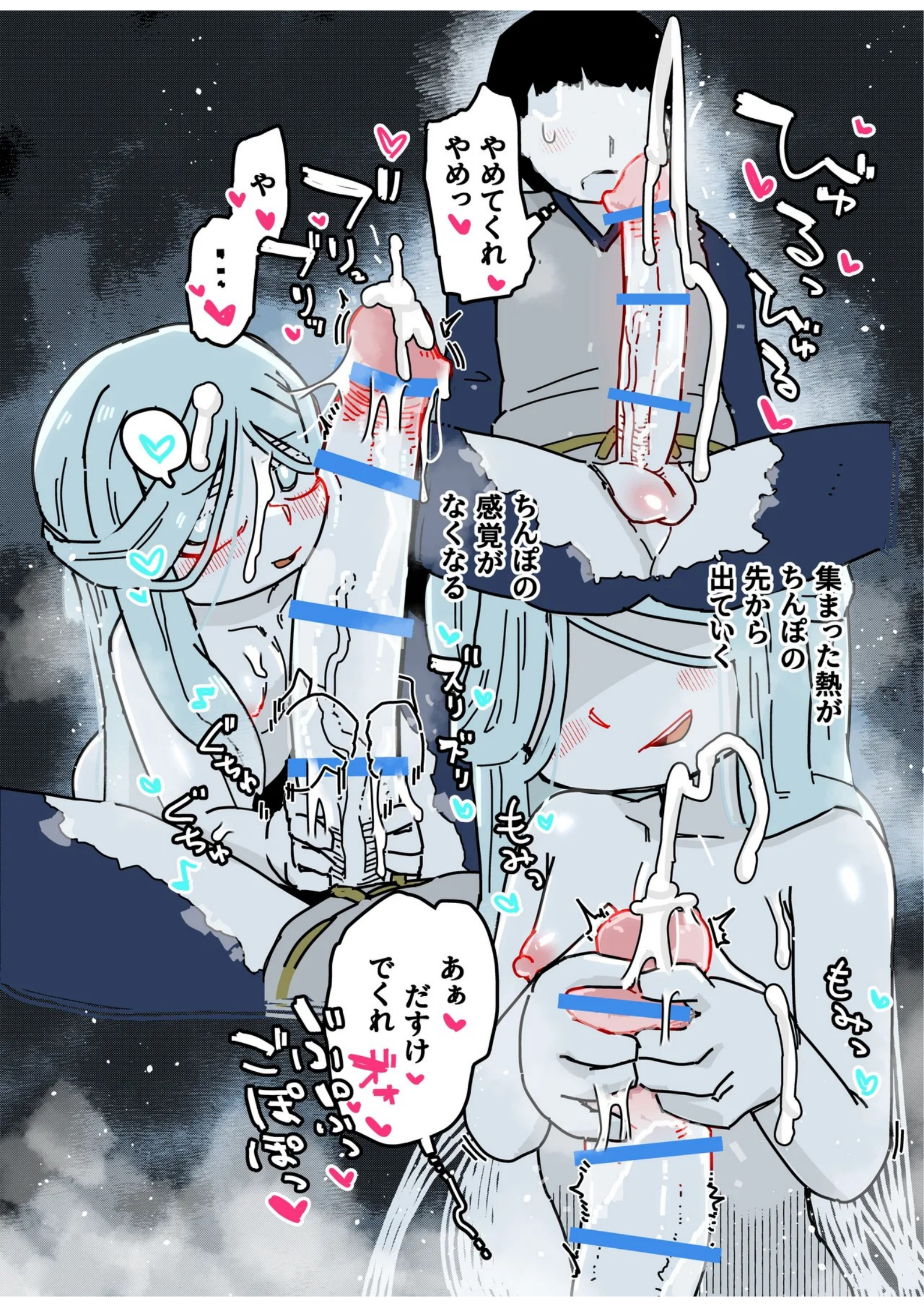
びびる

あっ
あっ
あ



スリ





やめてくれ
やめっ

あー
だすけ
でくれ

ちんぽの
感覚が
なくなる

集まった熱が
先から
出ていく

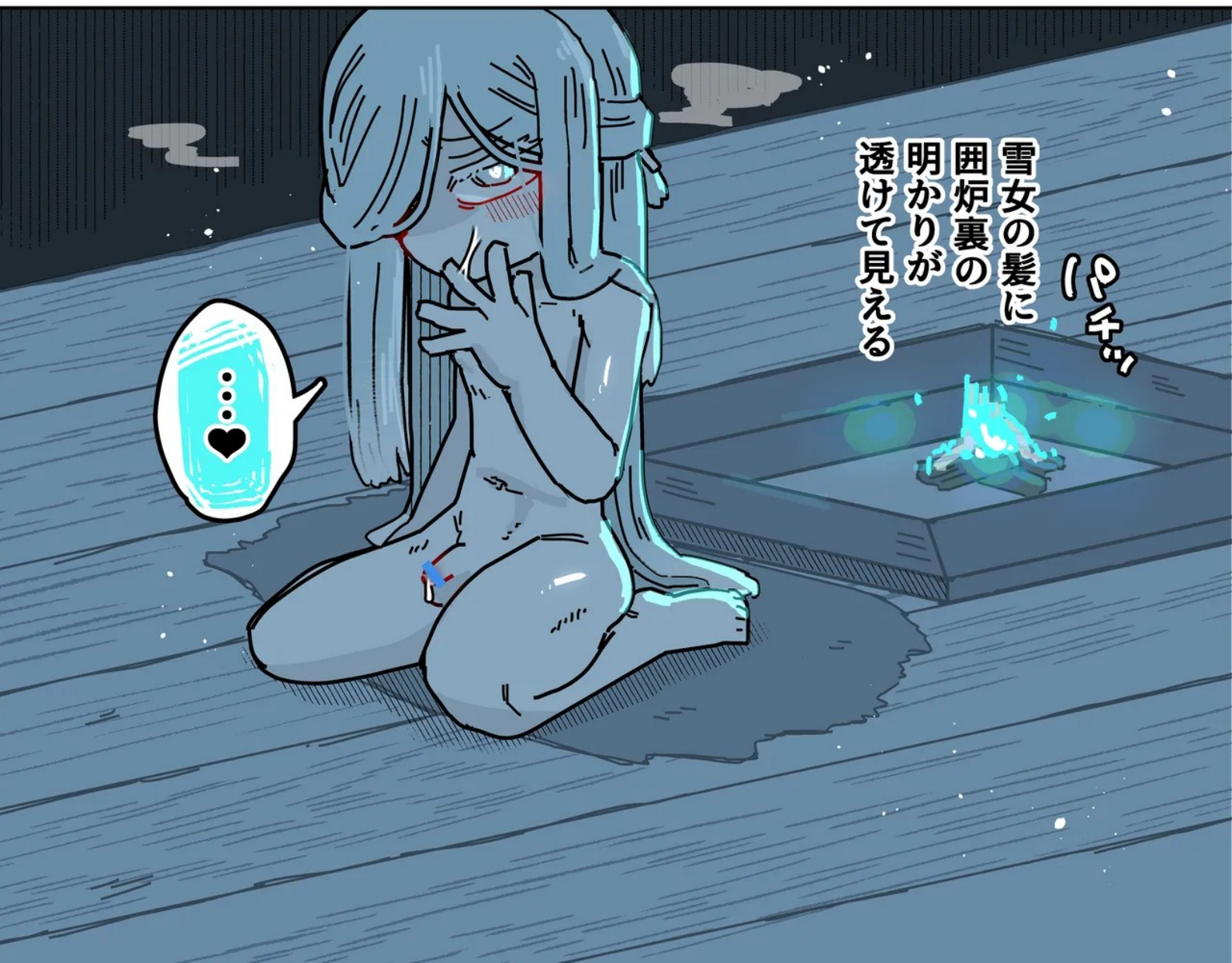
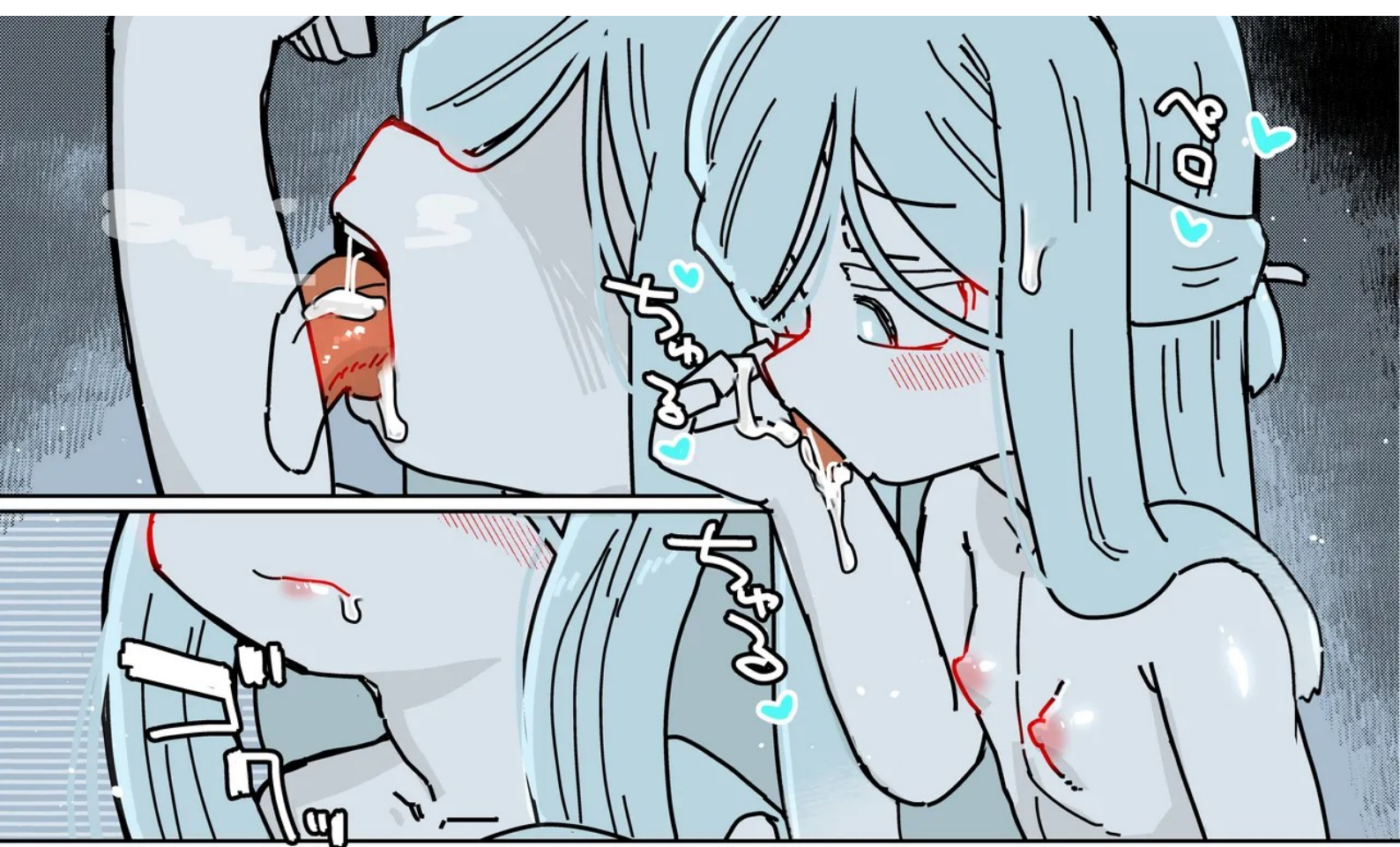
あー
だすけ
でくれ

あー
だすけ
でくれ

ああ
だすけ
でくれ

あー
だすけ
でくれ

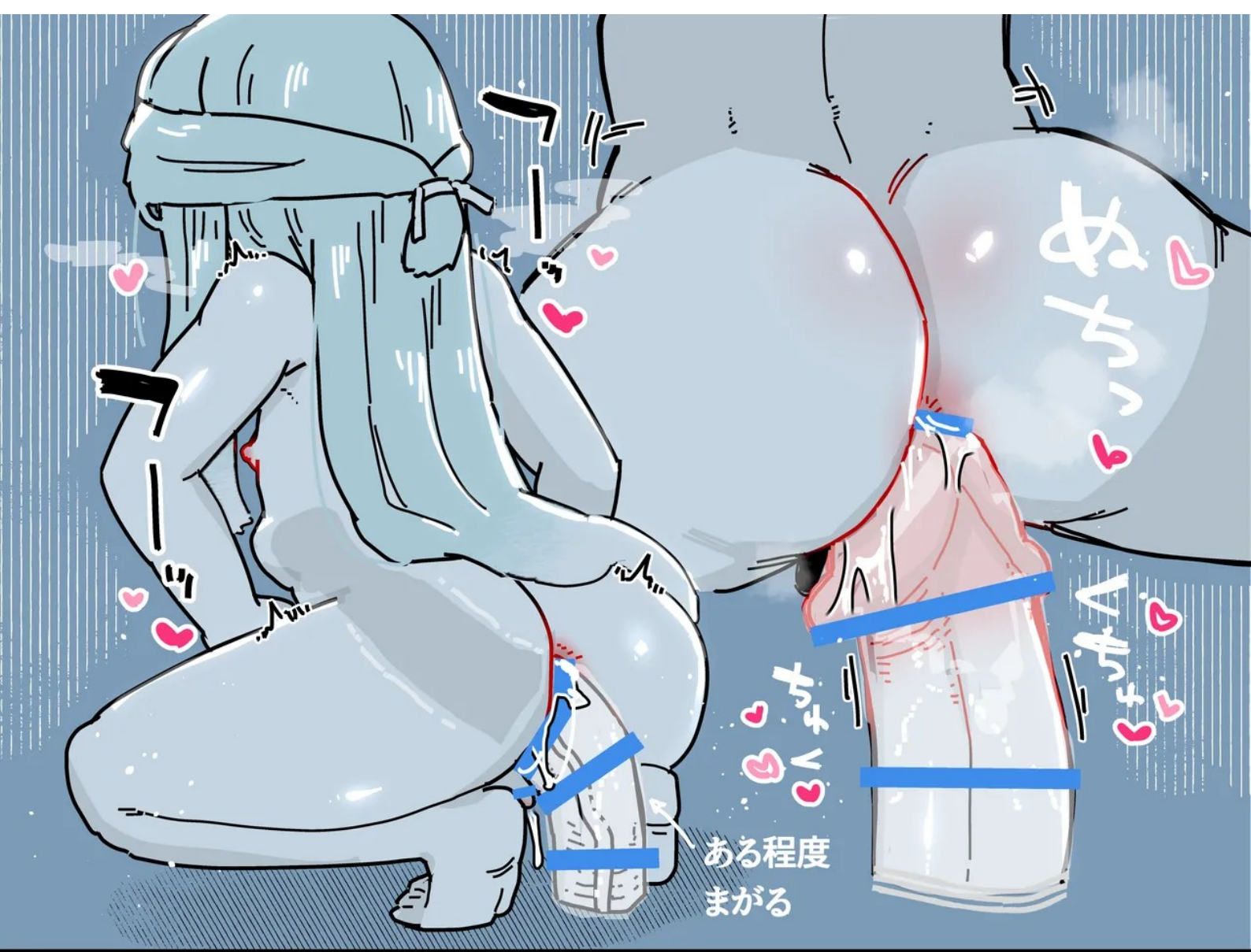
あー
だすけ
でくれ



雪女の髪に
囲炉裏の
明かりが
透けて見える

パキッ





ある程度
まがる



命からがら
家へと
逃げ帰った

背を向けて
いる隙に

雪女は
ちんぽに
夢中



ねえ
あなた
どうし
たんだい



ずわえの
言葉を
聞かず
家を
飛び出す

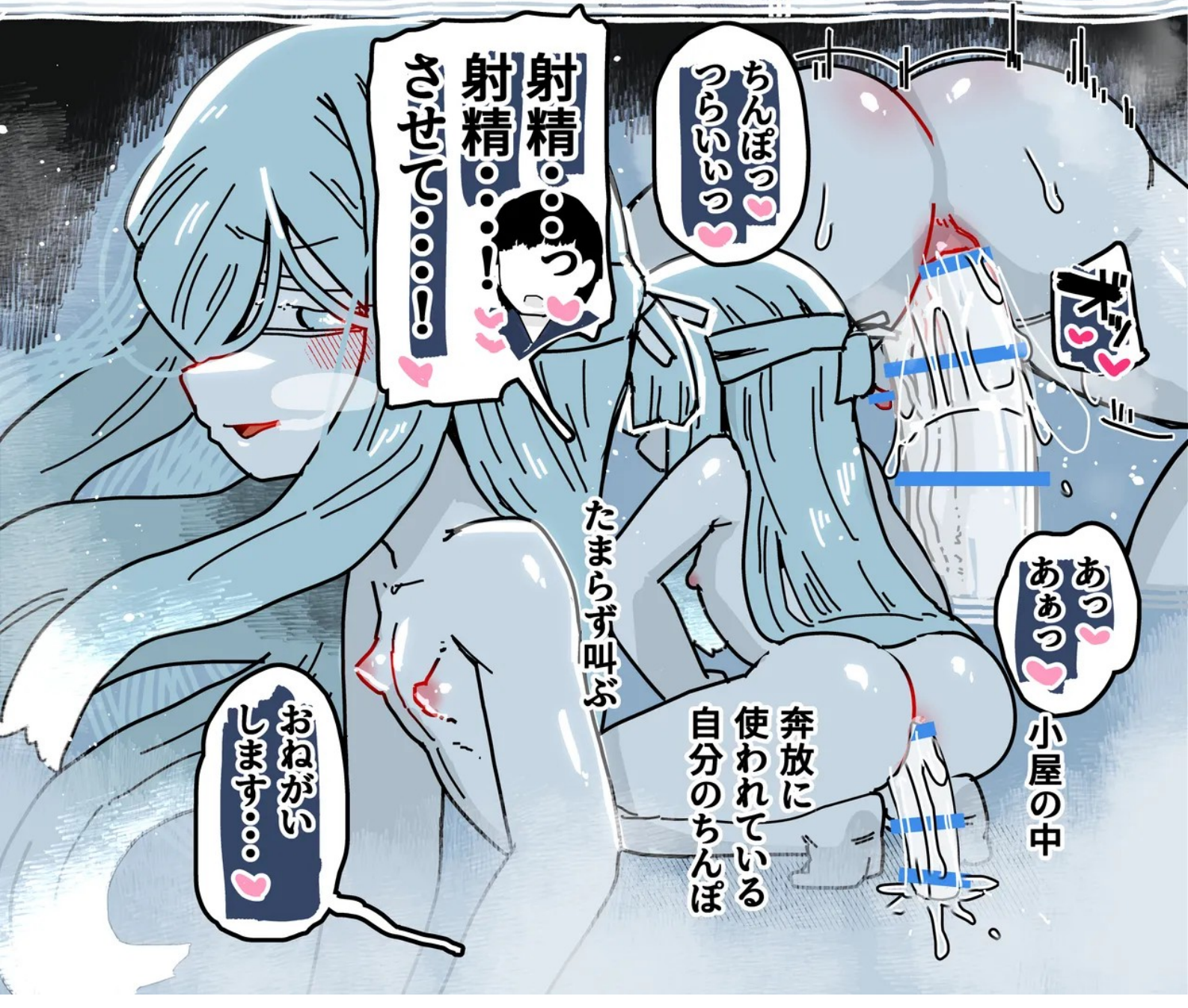


うばわれた
ちんぽが
うずきつづける

返して
もらわねば

返して...

かえして



ちんぽが
つらいっ

射精...
射精...
させろ!!!

たまらず叫ぶ

あっ
あっ
あっ

小屋の中

奔放に
使われている
自分のちんぽ

おねがい
します...

きもちさらさら
ああつ♡♡♡

あつ♡♡♡

雪女は
おらの体を
操っている

氷で
接がれた
ちんぽ

ぬた♡♡♡

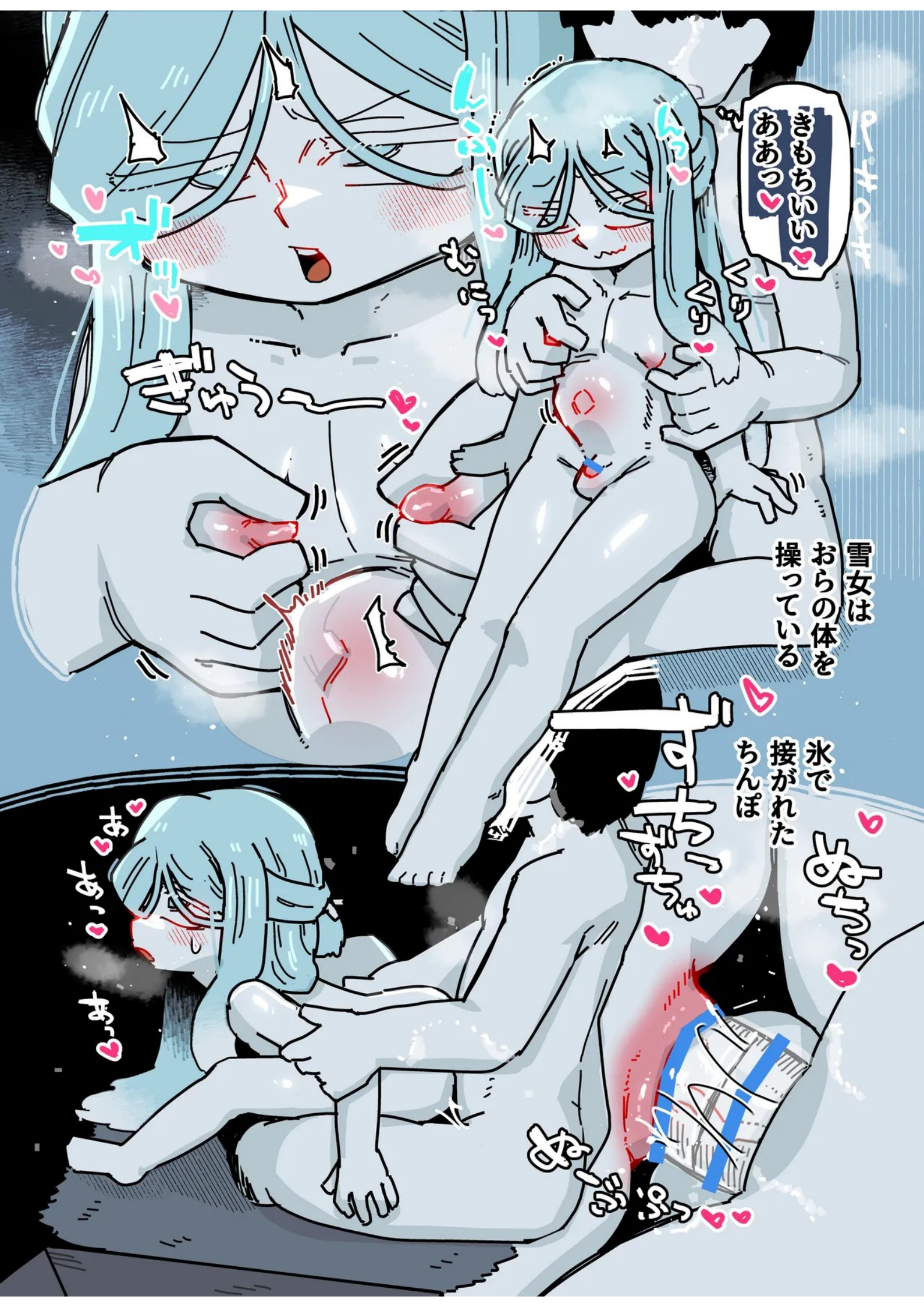
あつ♡♡♡

あつ♡♡♡

ぎゃう♡♡♡

あつ♡♡♡

あつ♡♡♡



戸が開き
冷たい風が
吹き込む



うしろで
誰か叫ぶが
すぐ静かになつた



だれか
きた?
穴の
お奥
ほじる
頭ん中
まで
凍つて
うまく
かんがえ
られ
ない

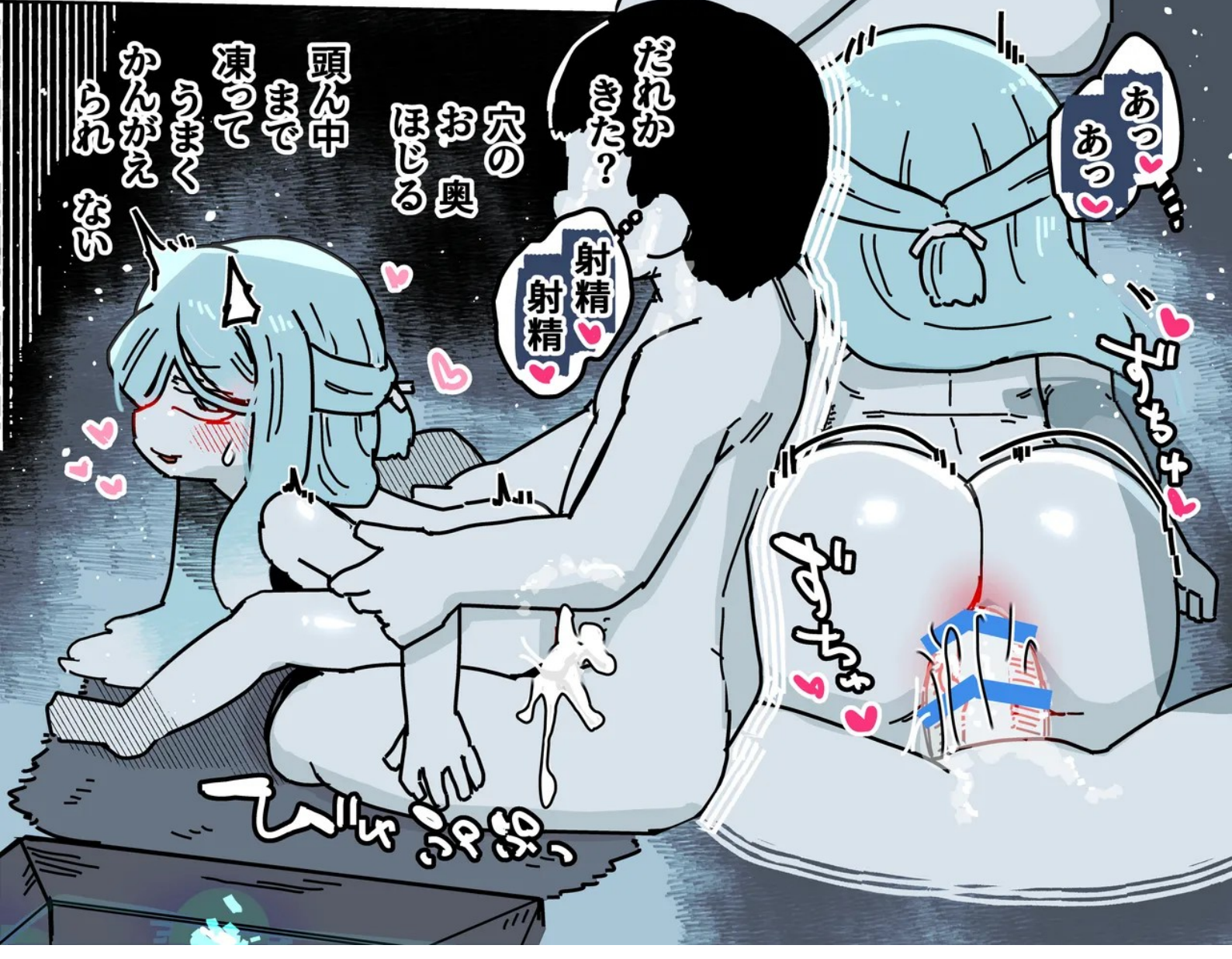
射精
射精

あつ
あつ

ラブ
ラブ

ラブ
ラブ

あつ
あつ



氷の中に
いたのは

目だけが
動かせる

おらの後を
追ってきた
すわえ
妻だった

ああっ
あああっ
ああああっ!

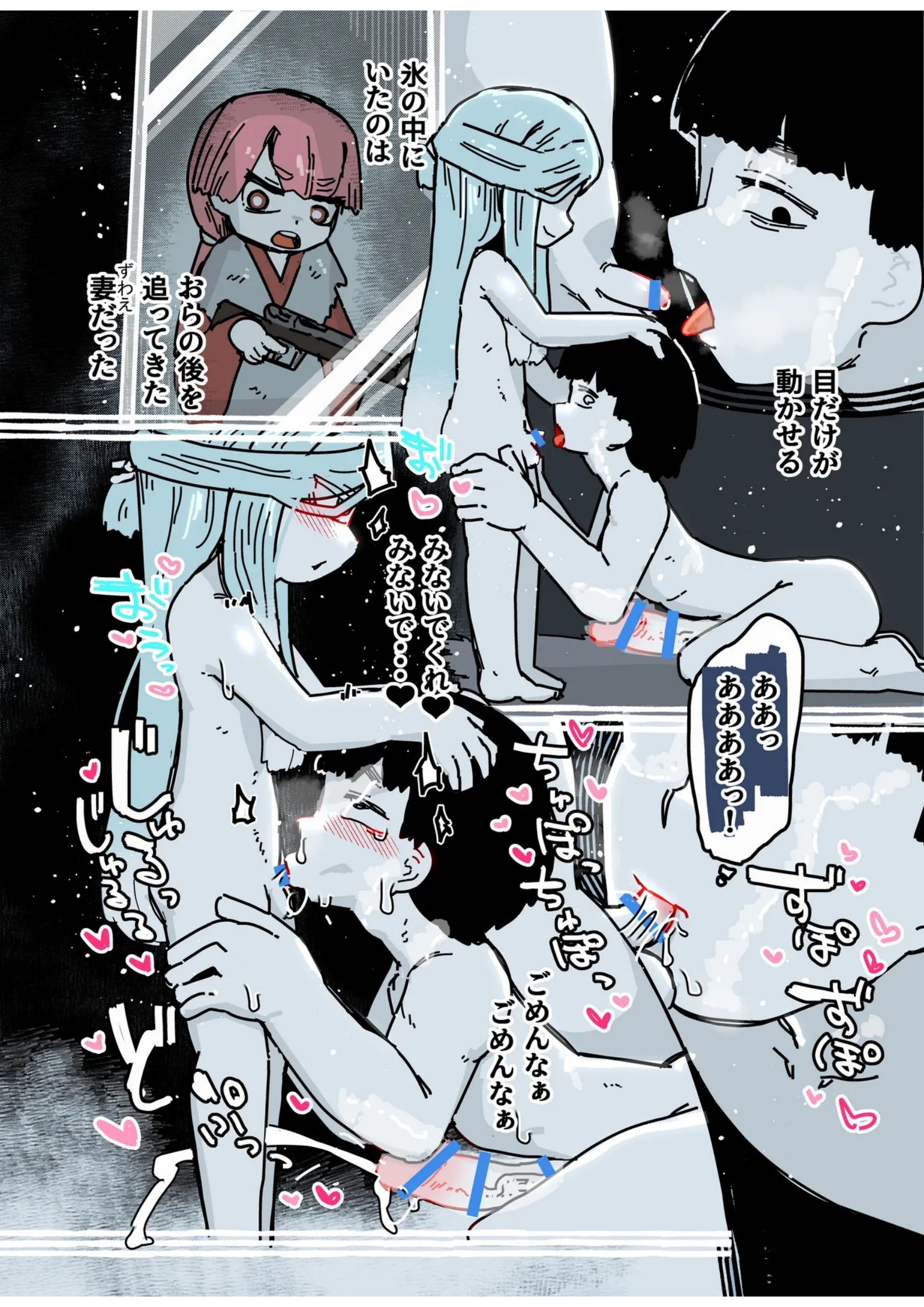
ごめんなあ
ごめんなあ

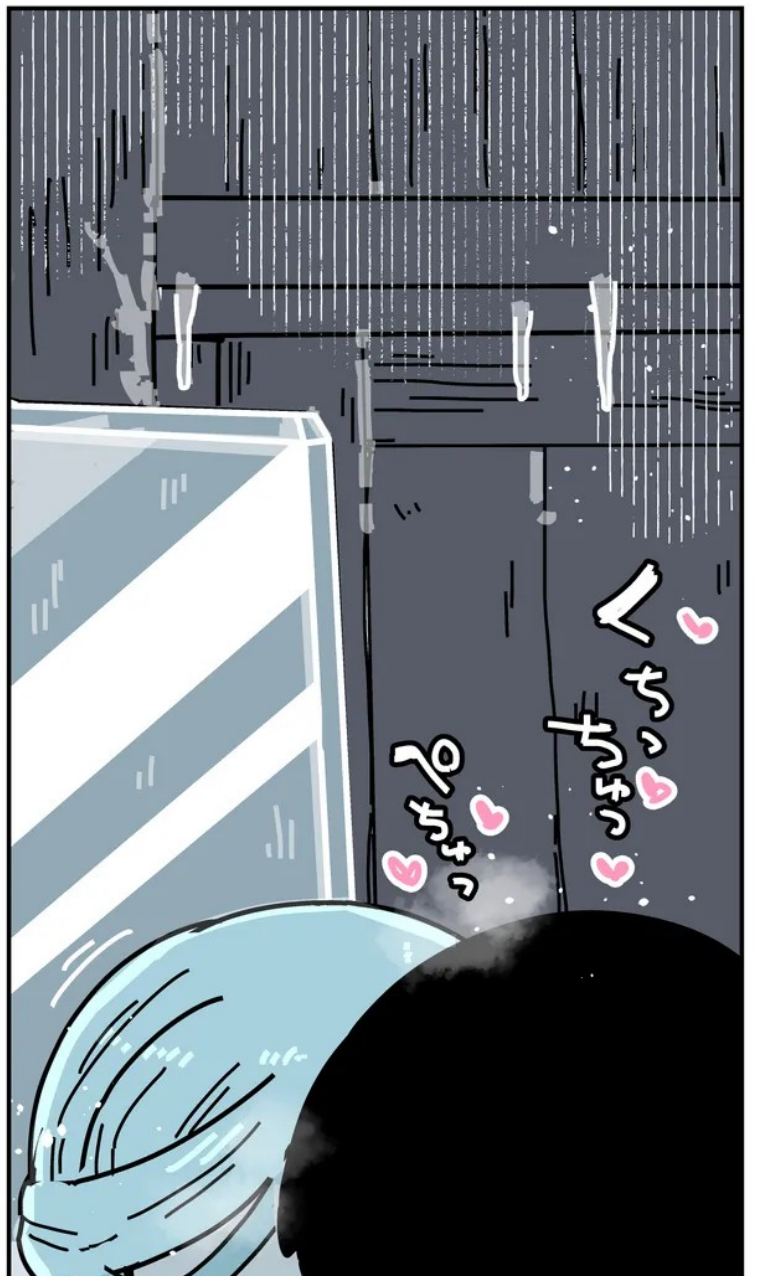
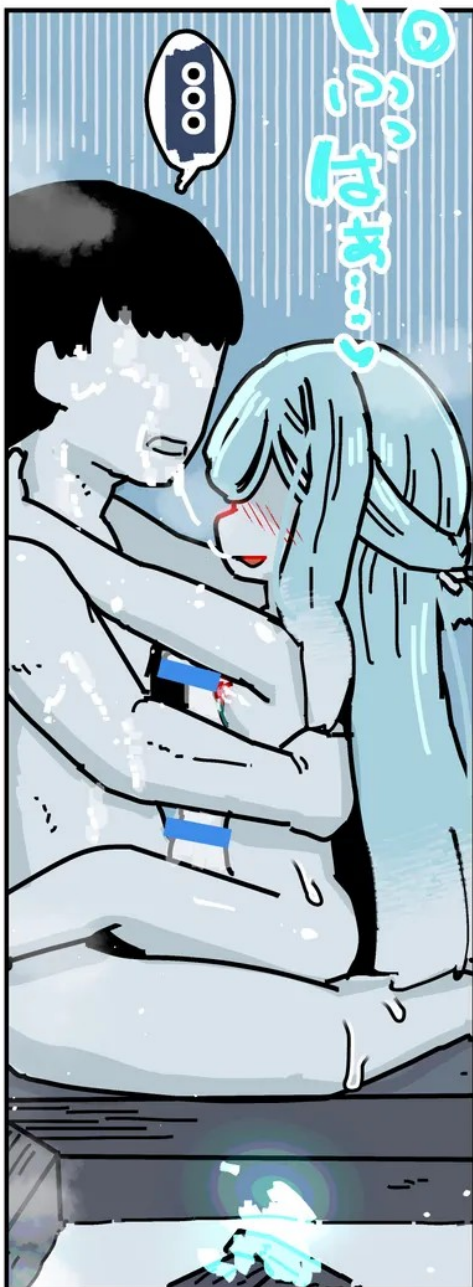
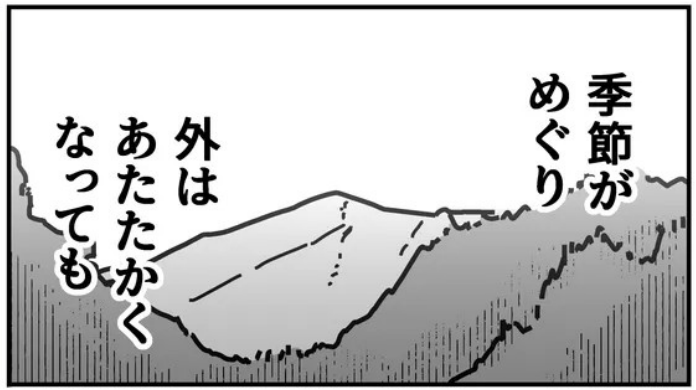
みんな
みないでくれ
みないで...

たふたふ
たふたふ
たふたふ

たふたふ
たふたふ
たふたふ

たふたふ
たふたふ
たふたふ





ずわえ
氷柱をみて
笑う雪女

おわり

